

平成 29 年度

学校自己評価報告書

平成 30 年 4 月

学校法人八文字学園

 水戸電子専門学校

◆平成 29 年度 自己点検評価について

学校法人八文字学園 水戸電子専門学校は、創立以来、常に時代のニーズを先取りした実務教育を徹底し、また最先端の教育設備を整え、専門的で実践的な人材を社会に送り出してきました。

本校では、未曾有の自然災害や社会変革に対応できる技術・知識を身につけた、真の社会が求める課題対応能力を持つスペシャリストの育成を使命としております。

文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考として、平成 29 年度学校自己評価を実施し、本校の教職員が更なる教育の質の向上を目的として自校の教育活動その他学校の状況について客観的に評価し、現状の把握、問題点の発見ならびに改善策の検討・実施を行っております。

1. 対象期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

2. 実施方法

(1) 自己点検評価委員会による合議制の評価

自己点検評価委員会を設置し、自己点検・自己評価を実施し、改善に取り組んでいます。

学校長をトップとして学校自己評価委員（教職員）により、その規定によって方針を定め、評価を行っております。

(2) 参考基準：「専修学校における学校評価ガイドライン」

(3) 評価期限：年一回年度末 毎年 2 月基準月とする

(4) 評価結果の公開：報告書の作成保管およびホームページで公開しております。

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

4. 自己点検評価の実施

『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、点検評価の項目は、評価項目の達成及び取組状況」11 分類 64 項目で **自己評価ポイント（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1、無該当：0）**です。

自己点検評価委員 以下 4 名（総括 倉橋、情報処理科長 相田、情報メディア学科 橋本、情報システム学科 平松）による定量的評価と定性的評価により、自己点検評価委員会にて教員の評価平均（少数第 2 位まで）を計算し、現状および問題点と改善策につきましては、自己点検評価委員の意見を反映させまとめたものです。

5. 評価項目の達成及び取組み状況

◇ 1 教育理念・目的 総合評価 3.42

教育理念 人の育て方 「やってみせ、言って聞かせて、させてみてほめてやらねば人は動かじ」

教育目標 「即戦力となる I T 技術者の養成」のための教育の質的保証と向上

重点目標 1. 資格取得体制の充実により合格率を高めることで専門能力の知識や技術など専門性を高める
2. コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を通して社会性を身につける

1. 学校の教育目標

「即戦力となる I T 技術者の育成」のための教育の質的保証と向上 & 人間力の育成

2. 学科の基本方針重点的目標

□情報システム・情報処理科…①国家資格者の増加 ②他校との差別化を図るための新しい授業の推進

<国家資格合格目標> 資料 1

	高度+応用	基本	I T パス	午前免除
目標	5	20	40	

□情報メディア学科…クリエイティブ職のあらゆる領域や分野を広く浅く学んでいく

<合格目標> 色彩検定 マルチメディア検定 C G クリエイター 家電製品アドバイザー 販売士 D D 3

3. 学習目標

■情報システム・情報処理科…①応用力の育成 ②企画力の向上 ③新しい I T 技術の進取と取得

■情報メディア学科…①課題制作 ②専攻スタイルとグループ制作

(1) 評価

評価項目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4	4	4	4
イ	学校における職業教育の特色を示しているか	4	4	3	3	3.5
ウ	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	3	3	3.25
エ	学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4	3	3	2	3
オ	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4	4	3	3.75
カ	各学科の基本方針、学習目標、資格の合格目標は達成されているか	3	3	3	3	3

(2) 現状および問題点と改善策

・設備投資や教員の確保、育成に力を入れた方がよい。

◇ 2 学校運営

総合評価 2.29

(1) 評価

評価項目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2	2	3	2	2.25
イ	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	2	3	3	2.75
ウ	運営組織や意識決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2	2	3	2	2.25
エ	人事、給与に関する制度等は整備されているか	3	1	2	2	2
オ	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2	1	2	2	1.75
カ	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3	3	3	3
キ	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	3	3	3	3
ク	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	1	2	2	1.75

(2) 現状および問題点と改善策

- ・人事、給与に関する評価基準の不明確な点がある。
- ・情報システム化等の整備と業務の効率化を図るとともに、業務内容を明確にし、かつ組織整備など意思決定システムを整える必要がある。

◇ 3 教育活動

総合評価 2.70

(1) 評価

評価項目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	4	3	3	3.25
イ	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	2	3	3	3
ウ	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	3	3	3.25
エ	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	3	3	3.25
オ	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4	3	3	3.5
カ	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	2	2	2	2.25
キ	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	2	3	3	3
ク	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4	4	3	3.75
ケ	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3	2	3	3	2.75
コ	資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	3	4	3.5
サ	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	3	2	2	2.5
シ	関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	2	2	3	2.5
ス	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか	3	2	3	2	2.5
セ	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	2	3	2	2.5

(2) 現状および問題点と改善策

- ・進級卒業判定の体系化と学校組織内の意思統一を図る。
- ・教員の能力開発や専門分野の最新技術や知識の取得については、日常業務に追われ、組織的な取り組みが十分ではないので検討を進めている。

◇4 学修成果

総合評価 3.15

☆就職率 100%

☆資格取得率

☆退学率

学 科	2016	退学率	2017	退学率
情報システム	0	0%	2	5%
情報処理	3	4%	7	12%
情報メディア	1	4%	1	5%

	高 度 + 応 用	基 本 + パ ス	I T 入 力	午 前 免 除
実績	6	12	25	16

(1) 評価

評 価 項 目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	就職率の向上が図られているか	4	4	4	3	3.75
イ	資格取得率の向上が図られているか	4	4	4	3	3.75
ウ	退学率の低減が図られているか	4	2	3	2	2.75
エ	卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	4	2	3	2	2.75
オ	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	2	3	2	2.75

(2) 現状および問題点と改善策

- ・就職率は良いが、学生の希望と能力のあう企業（就職の中身）をより高める努力をする。
- ・卒業生に対するフォローアップが欠けており、追跡調査などの仕組みづくりが必要である。今年度OB/OG座談会の実施をしました。

◇5 学生支援

総合評価 2.46

(1) 評価

評 価 項 目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	4	3	3	3.25
イ	学生相談に関する体制は整備されているか	3	3	3	2	2.75
ウ	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	4	3	3	3.25
エ	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2	2	3	2	2.25
オ	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	2	2	2	2
カ	学生の生活環境への支援は行われているか	3	3	3	2	2.75
キ	保護者と適切に連携しているか	3	2	3	3	2.75
ク	卒業生への支援体制はあるか	3	2	3	2	2.5
ケ	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	2	3	3	2.75
コ	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2	2	2	2	2

(2) 現状および問題点と改善策

- ・学生の健康管理を担う仕組みづくり（保健室の整備など）の強化とスクールカウンセラーの配置が必要とされる。
- ・社会力向上を目的とする課外活動の検討が必要である。

◇6 教育環境 総合評価 2.59

(1) 評価

評価項目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2	2	3	2	2.25
イ	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3	2	2	2	2.25
ウ	学生が自主的に学習するための環境が整備されているか	3	2	3	3	2.75
エ	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか	3	4	3	3	3.25

(2) 現状および問題点と改善策

- ・職業教育の実践面でインターンシップの重要性を認識する必要がある。

◇7 学生の受け入れ募集 総合評価 3.02

(1) 評価

評価項目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4	3	2	3.25
イ	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4	3	3	3.5
ウ	学納金は妥当なものとなっているか	3	2	3	2	2.5

(2) 現状および問題点と改善策

- ・学生募集にあたり、イノベーション（広報上のインパクトの創出やアングルを変える）の必要がある。

◇8 財務 総合評価 3.05

(1) 評価

評価項目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	2	3	3	2.75
イ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	2	3	3	2.75
ウ	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	3	3	3.25
エ	財務情報公開の体制整備はできているか	3	4	4	3	3.5

(2) 現状および問題点と改善策

- ・各年度の収支とこれまでの蓄積を充て、借入をせずに自己資金で賄ってきており、財務諸表の通り財政基盤は安定している。

◇9 法令等の遵守 総合評価 3.11

(1) 評価

評価項目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	3	3	3	3

イ	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3	3	3	3	3
ウ	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	3	4	3	3.25
エ	自己評価結果を公開しているか	3	3	4	3	3.25

(2) 現状および問題点と改善策

・個人情報の適正な管理運用に努め、ネット社会の危険性の周知と意識向上の徹底を図るべきである。

◇10 社会貢献・地域貢献 総合評価 3.02

(1) 評価

評価項目		倉橋	相田	橋本	平松	総合
ア	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3	3	3	3
イ	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	3	2	3	2.75
ウ	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	3	3	3	3

(2) 現状および問題点と改善策

・積極的にボランティア活動を推進し、地域貢献、社会貢献を図り発信の場として利用していく必要がある。

◇基準 11 国際交流

現在、留学生の受け入れは、行っておりません。

【まとめ】

以上が、2018年3月に自己評価委員（教員）が実施した評価の結果です。概ね10の観点から検討を行った結果、以下の4項目で昨年からの評価ダウンが著しく「やや不適切：2」に属していることが明らかになりました。

<低評価項目>

I. 学校運営 総合評価 2.29

- ・目的等に沿った運営方針が策定されているか 2.25
- ・人事、給与に関する制度等は整備されているか 2
- ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか 1.75
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか 1.75

II. 教育活動 総合評価 2.70

- ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか 2.25
- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか 2.5
- ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 2.5
- ・関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか 2.5
- ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか 2.5
- ・職員的能力開発のための研修等が行われているか 2.5

III. 学生支援 総合評価 2.46

- ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか 2.25
- ・課外活動に対する支援体制は整備されているか 2
- ・卒業生への支援体制はあるか 2.5
- ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか 2

IV. 教育環境 総合評価 2.59

- ・施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 2.25
- ・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか 2.25

<評価に関するコメント>

I. 学校運営

人事、給与に関する不満や教務・財務等の組織整備など意思決定システム又は情報システム化については学園全体にかかわる高度な問題であるので簡単に解決することは難しい面がある。

II. 教育活動において専門教育への満足度、カリキュラムの満足度という点からみれば、カリキュラムは総じてうまく機能していることが明らかになった。反面、職業教育の実践性や教員の資質、能力、指導力、能力開発など「専門教育」充実のために、さらに詳細に人材面等検討調査していく必要があると思われる。

III. 学生支援

体調不良を訴える学生や精神的な不安定さを訴える学生が多数みられ、その点での管理側の不安が現れているものと思われる。

また、課外活動はほとんど行われておらず、支援体制も現在ではない。

OB/OG座談会を実施し、積極的に卒業生との接触を図る努力をしている。

高校ガイダンスがかなり多く実施されており、高校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われている。

IV. 教育環境

学内外の実習施設やシステム化に、やや不満を持っている点は、学園の財政面や実習の有用度の関連調査を行うことが課題である。

時間が許される限り、積極的なインターンシップ活動を奨励、支援していく必要がある。

以上

学校法人八文字学園 水戸電子専門学校
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-20
